

六勝寺跡発掘調査
〈推定尊勝寺阿弥陀堂跡〉

—— 現地説明会資料 ——

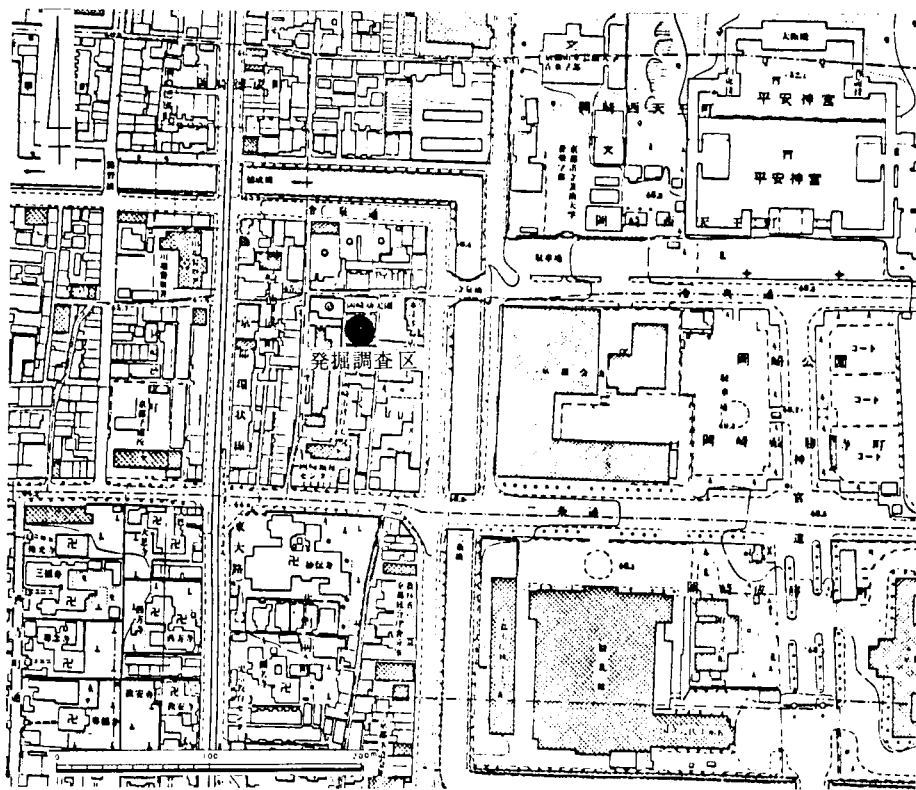
1979. 1. 20

財団法人 京都市埋蔵文化財研究所

1. 調査経過

本調査は(株)象彦の製品倉庫棟の建設に先立つ第2次調査であり、1978年12月11日より調査を開始し、第1次調査区の北側を一部重複して南北約2/m、東西約20mの調査区を設定した。

第1次調査は1977年12月に行なわれ、調査区全面に建物基壇とその上面に礎石据え付け跡を検出した。遺構は南北棟建物で桁行2間分を検出し、東に廂及び孫廂を持つ建物であることが知られた。今回の調査はこの建物の北側及び基壇版築の状況を確認するために行なわれた。



発掘調査位置図

2. 層位

調査区の層位は地表下約50cmまで黒灰色土で明治以降の盛土と整地層である。この下に10cm前後の暗褐色土の近世の層があり、多量の瓦が含まれている。この層の下は基壇版築の層であり、西で80cm、東で50cmの厚さである。版築は黒色土と黄色砂を互層に積んで作られているが、各所によって層位や土が異なっており、均一に積まれているはいない。またこの層の中に平安時代の土器や瓦を含んでおり、たたましめも固いものではない。版築上面はかなり削られており、部分的に高く残っている所もある。現地地点では基壇端部が検出されていないので基壇の高さは不明である。基壇版築層の下は厚さ約40cmの灰色粘土、さらに下には白色砂層が続いている。これらの層の中には古墳時代の須恵器、土師器や弥生式土器を含んでいる。

3. 遺構

〈基壇〉 基壇上では礎石据え付け跡を21個検出し、遺構は南北棟建物が桁行を前回調査と合わせて6間分検出し、東西に廂を持ち、さらに東に孫廂を持つ建物である。柱間寸法は正確

ではないが、礎石据え付け穴の中心から中心での距離で測ると、桁行の間は約3.5m(12尺)等間で梁行のうら母屋が約9.4m(31尺)であり、東西の廂の出が約4.5m(15尺)、東の孫廂の出が約4.0m(14尺)である。建物の方位はほぼ真北である。

礎石は全て抜き取られているが、根固め石の多くは原位置を保っている。礎石据え付け穴は黒色土の面から掘り込まれており、孫廂のものが直径1.5mで、他は直径約2mであり、深さは約80cmである。根固めの石は径40~50cmの大きな石の間に小さな石を入れ組んである。上面は礎石を据えるために大きな石を円形に組み、中央をくぼませてある。

〈その他の遺構〉 近世及び明治以降の遺構としては土壇17・溝1・井戸2がある。これらの遺構は暗褐色土及び黒色土の面から切り込まれている。

4. 出土遺物

〈瓦〉 基壇上面の暗褐色土からコンテナ30箱分の瓦が出土しており、近世の瓦溜めからもコンテナ5箱分の瓦が出土している。又版築内からも若干の瓦が出土した。軒丸瓦は5点、軒平瓦は7点出土し、い

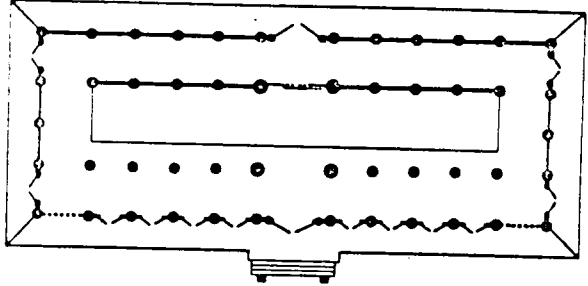
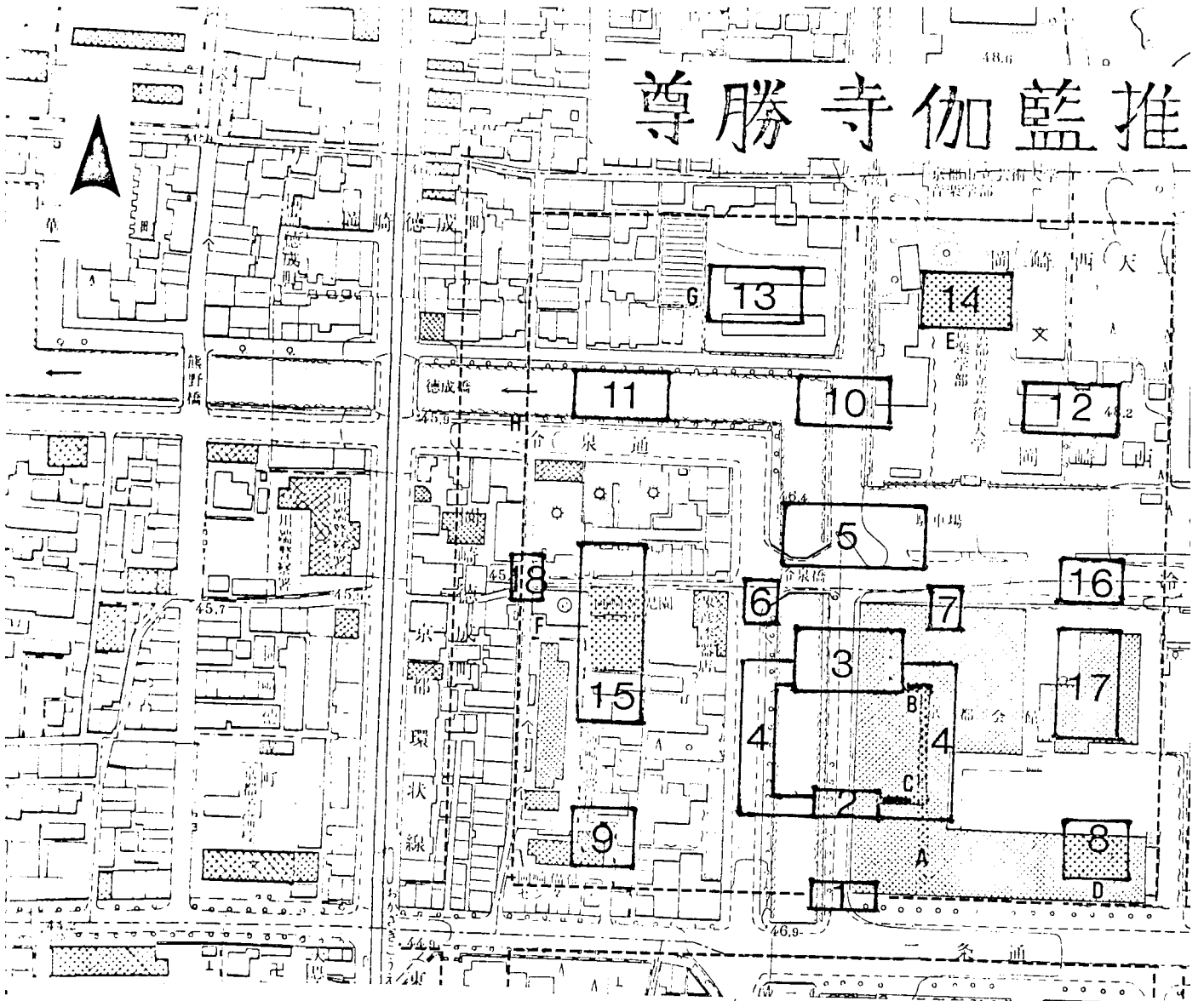
いずれも平安時代末のものであり、六勝寺他の寺で使用されていた瓦と同範のものもある。

〈土器〉 暗褐色土・黒灰色土からは近世の陶磁器が出土している。礎石握え付け穴埋土及び版築内からは若干の土師器が出土しており、いずれも平安時代末のものである。灰色粘土、白色砂からは、須恵器・土師器・弥生式土器が出土しているが摩滅したものが多い。

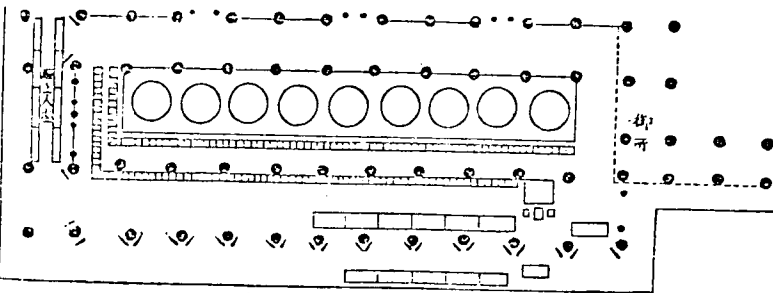
<この遺構は尊勝寺阿弥陀堂か>

- 1 得長寿院三十三間堂と推定することはあたらない。文献による得長寿院三十三間堂は極めて脆弱な建物であって、長承元年(1132)の創建後わずか16~17年後の久安5年(1149)に傾斜していることが問題になり、元暦2年(1185)7月9日の地震で倒れてしまった。そのような建物がこれほどの地業をもつとは考えられない。
- 2 この遺構は東西面を正背面にし、南北にわたる棟をもつ建物と考える。この位置で南北棟になり、このような地業をもつものと文献をさぐると、長治2年(1105)創建の尊勝寺阿弥陀堂が考えられる。
- 3 尊勝寺阿弥陀堂は九躰堂である。その堂の記録は三十三間堂とあるが、九躰の阿弥陀如来を安置する程度では三十三間を必要としない。十三間の誤りではないか。この遺構は現在のところそれをたしかめるものは出ていない。

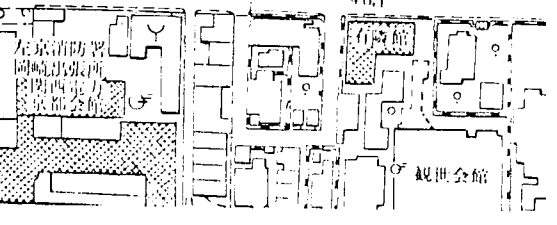
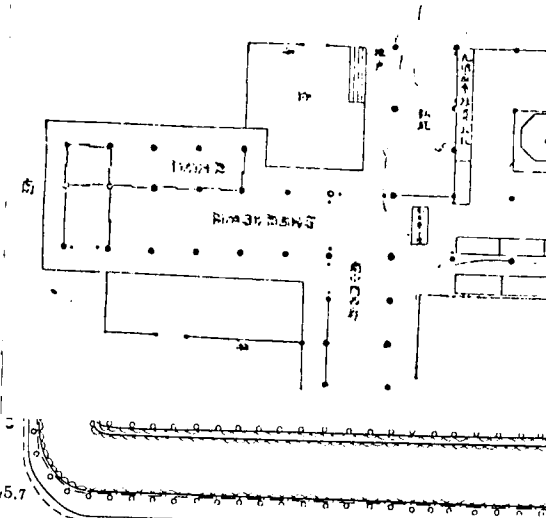
推藍伽寺勝尊



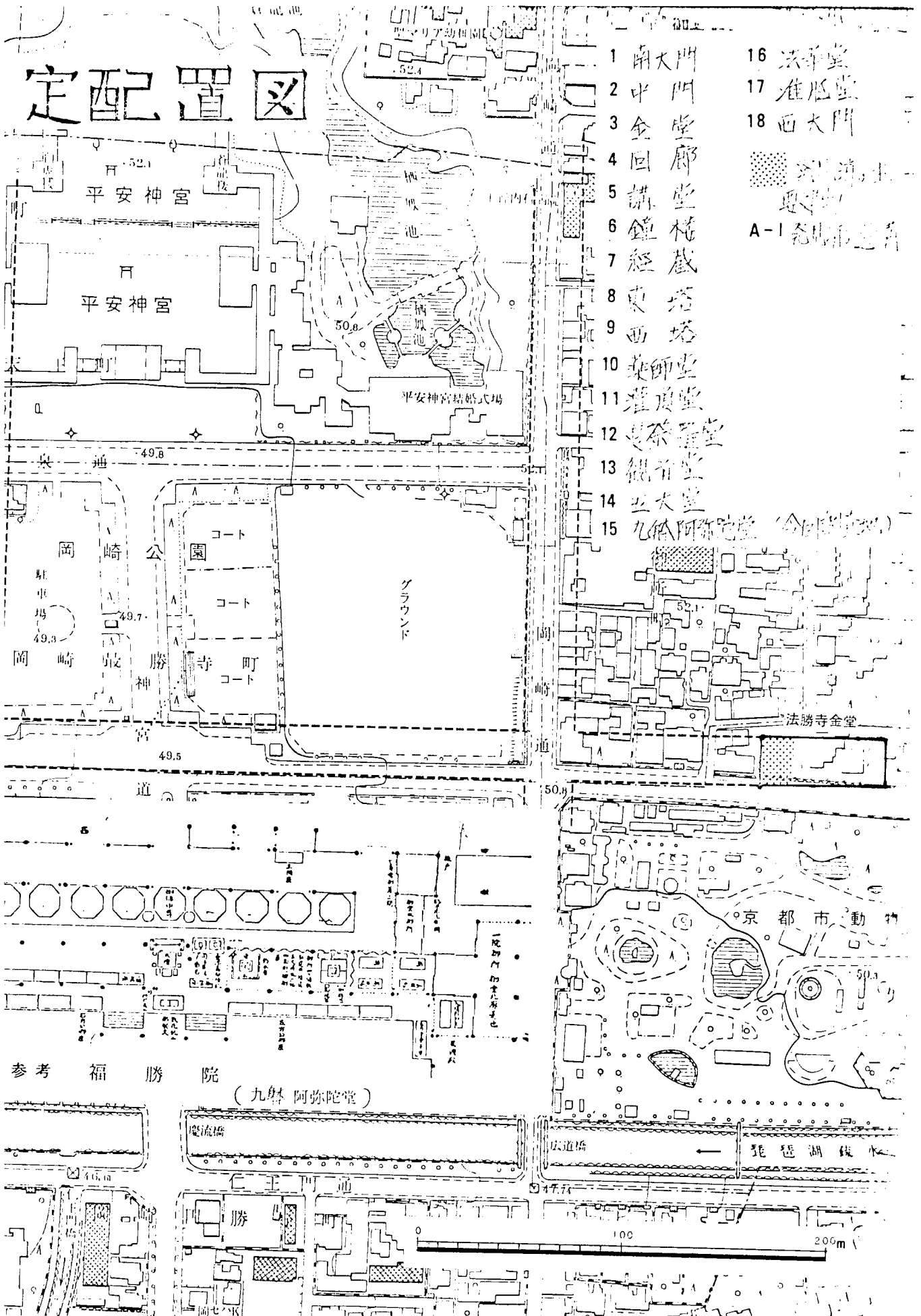
参考 淨瑠璃寺 (九杯阿弥陀堂)



参考 宝荘嚴院 (九杯阿弥陀堂)



定配置図



- 1 南大門
 - 2 中門
 - 3 金堂
 - 4 回廊
 - 5 講堂
 - 6 鐘樓
 - 7 經藏
 - 8 東塔
 - 9 西塔
 - 10 藥師堂
 - 11 灌頂堂
 - 12 曼荼羅堂
 - 13 観音堂
 - 14 五大堂
 - 15 九辨阿弥陀堂 (今川院)
 - 16 法華堂
 - 17 准胝堂
 - 18 西大門
- 池
 庭園
 A-1

参考 福勝院 (九辨 阿弥陀堂)

京都市動物園

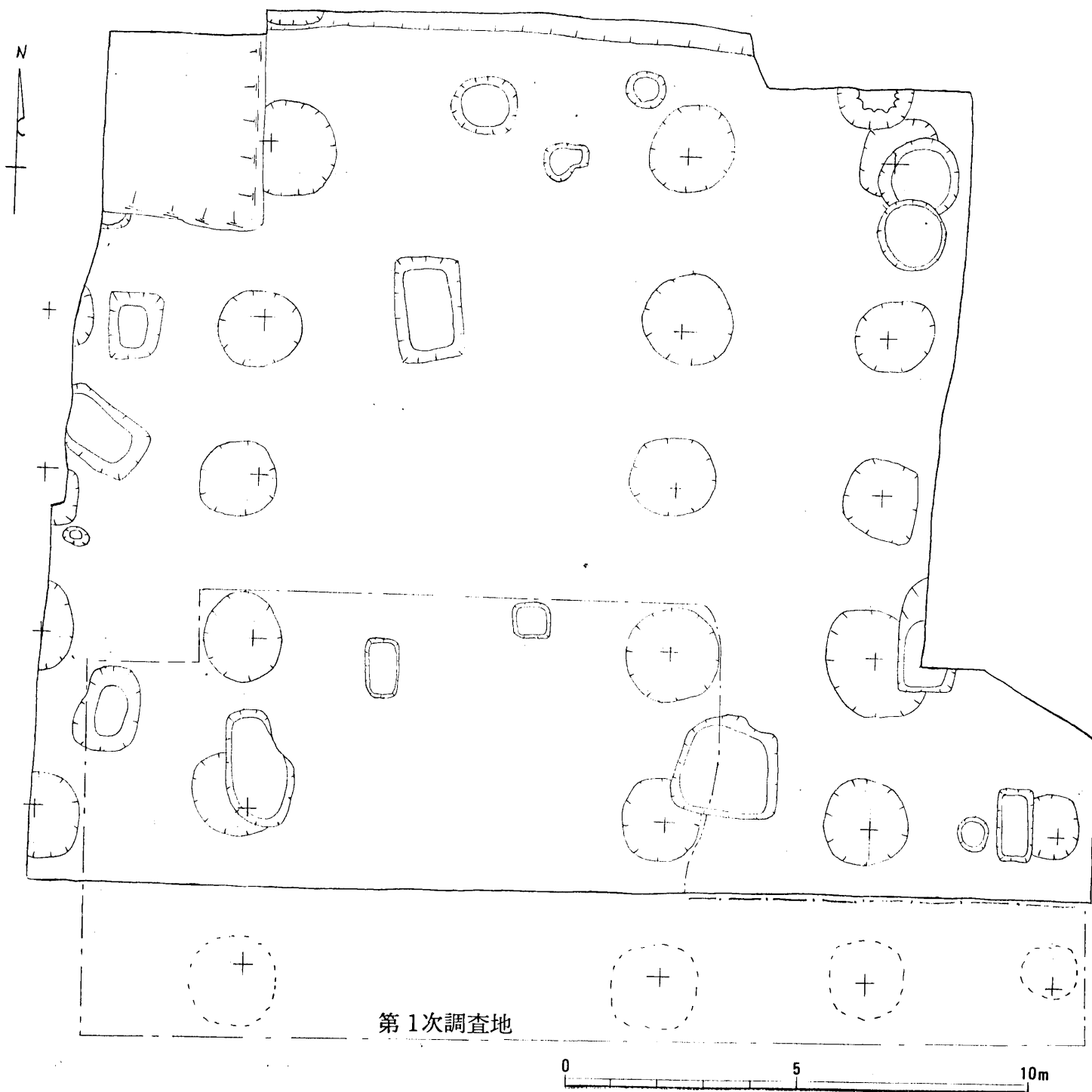
琵琶湖

法道橋

慶流橋

勝

100 200m



六勝寺跡調査区平面略測図(推定九輪阿彌陀堂)